

木材で街づくり



木材のチカラが、
この国の街づくりを変える。

かながわ県産

すぎすぎとひのき 松の内装材



かながわの四季の変化で育った県産材が
 ここ神奈川の気候風土の変化に最も適した木材です。
 無垢の木はあたたかみ・調湿効果があり、香り成分と
 消臭効果をもたらし心をなごませてくれます。

— あなたの身近な神奈川県木連の材木店へおたずねください —

かながわ県産材 色々なところに使われています



鎌倉時代の仏教建築

円覚寺は、鎌倉最大級の寺院です。創建から約800年、何度も火災に見舞われて再建されました。神奈川県の木材がふんだんに使われた仏殿は、建立時の格式ある禅寺の姿を保っています。



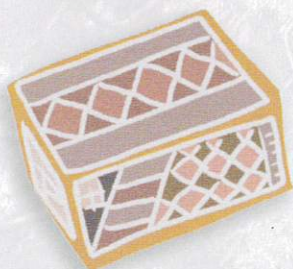
歌舞伎座（丹沢産の木）

歌舞伎座の舞台には百年檜（ひやくねんひのき）と呼ばれる立派な木材が使われています。その総数なんと1200本！実はその百年檜、全部神奈川県の新潟の山から伐り出されたものなのです。



鎌倉彫り

鎌倉彫りとは、木材でお盆や容器などを作り、そこに文様を彫って、漆を塗って仕上げた工芸品です。神奈川県の新潟市及びその周辺地域で作られたものをいいます。



箱根細工

様々な木材を組んで色模様を作る技術です。代表的な作品は「秘密箱」で、江戸後期から作られています。仕掛けを解除しないと、箱が開かないようになっています。

かながわ県産材 時間が経つごとにより美しく変化していきます。

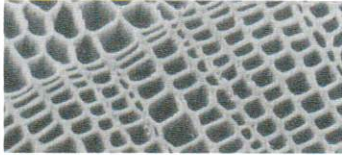
きちんとお手入れをしながら木の家に住んでいると、経年美化という言葉にも使われるほど、年月を経た分、味わいが深まり、より良い風合いが出てきます。メンテナンスをすることで、100年、200年と住み続けることができます。



かながわ県産材 木の家のいいところ色々

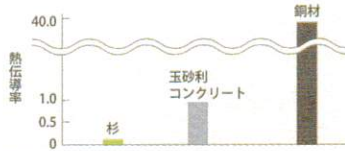
温かい

無垢の木には自然の温もりがあります。木材自体に断熱性があり、温かさを感じることができます。熱を伝えにくい空気の層がたくさんあるので、木の床に触れた時に皮膚から熱が逃げにくく、触れた部分の温度がゆっくり上昇し温かさを感じます。



木の繊維組織はミクロのパイプのようになっていて、空気の層が断熱効果を高めています。

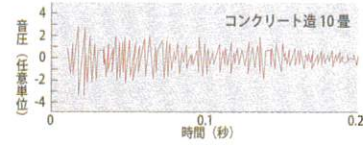
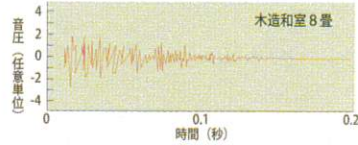
出展：「すばらしい木の世界」日本木材学会編



木材は熱伝導率が極めて低く、コンクリートと比べて約10倍の断熱性を持っています。

音がいい

木は音を適度に吸収し、柔らかく響かせ、人が心地よく感じる範囲に調整する特性があります。また、木を使った建物は音を適度に反射するため明瞭で、聞き取りやすい音になります。

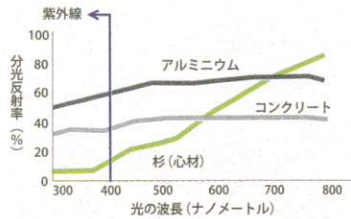


コンクリート造りの家では、耳障りな残響が長く続きますが、木の家では、人にとってちょうど良い残響時間になります。

出展：「木質環境の科学」鈴木正治著（海青社）

目にやさしい

木材は目にダメージを与える有害な紫外線を吸収して、ほとんど反射しません。木は青色の光を多く吸収し、赤色の光を多く反射してくれるので、木を取り入れた部屋は温かみを感じます。強い光が当たっても木の表面の細かい凹凸が光を散乱し、眩し過ぎないようにしてくれます。

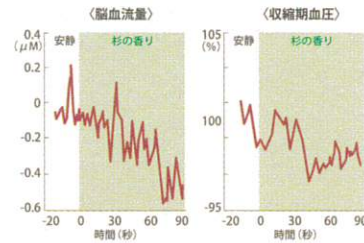


コンクリートに比べ、杉（心材）の紫外線の分光反射率は約半分です。また、木は紫外線を多く吸収し、赤外線を多く反射するので、目にやさしく温かみを感じます。

出展：「木を主かす」財団法人日本木材備蓄機構1989

リラックス効果

木の香りには鎮静効果があり、リラックス状態を作り出してくれます。木に触れると血圧が下がり、安らいだ状態になることもわかっています。木の家に住むことで森林浴の効果も期待できます。

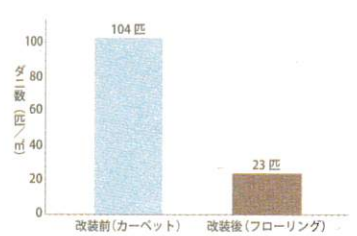


木の香りを吸い込むと、脳活動や自律神経活動が沈静化し、リラックスした状態になります。

出展：森林総合研究所 宮崎良文

ダニを抑える

ダニは高温多湿を好みます。木材は湿度を低く調整して、ダニが繁殖しにくい環境を作ってくれます。香りの元である、木に含まれる油分には防虫効果があり、ダニの繁殖を抑えてくれます。



カーベットの床と、木の床に改装した後の比較。アレルギーを起すダニが減少しています。

出展：高岡・高野・宮崎 1985



かながわ
の森

桧は日本固有の木材です。肌が細やかで光沢があり、耐久性も高く、曲げ強さもあります。狂いにくく、且つ長年に渡り強度が落ちないため、世界最良の針葉樹とされています。ダニを抑制する一方、桧の香りは人をリラックスさせる効果があると言われています。

杉は学名を『クリプトメリア ジャポニカ』と名付けられている日本独自の木です。日本の木の文化は杉の文化であると言われています。杉の木肌は柔らかく、しっとり濡れたような色ツヤを持ち、木目は変化に富んでいます。

そして、木の壁や天井は、湿度の調整をしてくれます。人が快適と感じる湿度は50%~60%で、12°角の無地の桧の柱は、一升瓶2、3本の水を吸収したり排出すると言われています。湿度が多いときは吸収し、乾燥状態の時は湿気を放出し、室内の湿度を最適に保ってくれます。

家は家族の健康を作る空間です。良い家とは健康に住める家です。人が健康に住むためには、その家が健康でなくてはなりません。いっしょに良い家を作りましょう。

**神奈川県木連**
神奈川県木材業協同組合連合会
TEL : 045 (261) 3731

神奈川県木連公式サイト <https://kenmokuren.com>

〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町9丁目149番地
神奈川県木材会館

E-mail : kanagawa@kenmokuren.com

FAX : 045-251-4891

